

令和3年度 厚真町事後事務事業評価結果 概要

日にち	事業番号・事業名	外部評価委員からの意見		評価に対する町の考え方
R3.10.28	1 子育て支援給付事業	附帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣市町との差別化を図り、子育てに手厚い町であるというPRにつながる事業であること。 ○本事業の取組は、子育て世帯間の不公平感解消につながる手立てになり得ること。 ▶以上から、予算・サービス・方向性を拡大のうえ事業を継続することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣市町では未実施の事業（民間賃貸住宅子育て世帯支援）や支給額が高い（出産祝い金）事業もあることから、移住・定住事業担当課と連携を図りPRに努めます。 ○不公平感が生じないよう、引き続き広報紙・HP・SNS等を活用し、制度の周知徹底と支給率上昇に努めます。 ○財源確保の問題や他の事業等との兼ね合いもあることから、それらと整合性を図りながら、限られた財源で効果的なサービスを維持・継続できるよう検討します。
		その他意見 (個別意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○手厚い支援のもと生まれ育った子どもが、厚真町に定着するような政策を検討願いたい。 ○町内在住者だけでなく、町外在住者に対する実効性のあるPRを積極的に実施願いたい。 ○給付事業であることから、対象世帯を取りこぼすことなく把握するよう努め、支援につなげることが望ましい。 	
	2 家族介護支援事業	附帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○家族介護に対する支援の拡充が求められるものの、財源確保に苦慮することが予想される。 ▶以上から、予算・サービス・方向性を現状維持のうえ事業を継続することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予算・サービスについては意見も踏まえ現状維持のうえ事業を継続します。
		その他意見 (個別意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、後期高齢者が増加することを踏まえ、中長期的なスパンでの対応策を検討願いたい。 ○労をねぎらうことを目的としない家族介護支援制度について調査・検討し、それらと統合した家族介護支援体制を展開していくことが望ましい。 	
	3 農業担い手育成センター管理運営事業	附帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○土地所有者と利用者（新規就農希望者）のマッチングに資するサービスを強化すること。 ▶以上から、予算・方向性は現状維持としつつ、サービスを拡大することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○土地所有者と利用者（新規就農希望者）のマッチングが進むよう、広報活動の強化に努めます。また、農地情報の申し出を受けた際には、各地区の土地利用や新規就農希望者の受入意向を踏まえた上でマッチングを進めることも、円滑な就農のためには重要であると認識しています。今後も定期的に各地区の受入意向調査を実施しながら、引き続き農地の「出し手」「受け手」「受入地区」のそれぞれの意向を汲んだ丁寧なマッチングに努めます。 ○農業研修の進捗状況をみながら、町民の皆さまに広く親しまれている広報誌やSNSを中心に、研修生の状況（希望作物、必要とする栽培面積など）を周知し、より多くの農地情報をご提供いただけるように努めます。 ○新規就農者の受入は、地域の農地利用を検討していただくことでもあり、耕作放棄地の発生を未然に防ぐ取組にも繋がるものと捉えています。研修生の活動と周知を通して、地域の皆さまに受入へのご理解をいただけるように努めます。
		その他意見 (個別意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○研修生が必要とする栽培面積や立地条件を地域に対し広く周知する等、研修生の円滑な新規就農を促すとともに、耕作放棄地対策にも繋がる取組を実施願いたい。 	
	4 定住化促進対策事業	附帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○移住・定住化促進に資する取組は、本事業のみならず多岐にわたっている現状を踏まえ、それら多岐にわたる事業の「総合窓口」として、本事業が機能することを期待する。 ▶以上から、予算・方向性は現状維持としつつ、サービスを拡大することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各課で実施されている移住定住推進施策や、関連する取り組みなどの情報収集と整理を行い、移住希望者のニーズに即した適切な制度やサービスを分かりやすく紹介できるような体制づくりに努めます。併せて、社会情勢の変化を対応できるよう各種補助金や制度については随時見直しを行います。
		その他意見 (個別意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○町の改善提案である「民間の中間支援組織」について、利用者からの信頼性を担保できる手法を検討願いたい。 	

令和3年度 厚真町事後事務事業評価結果 概要

日にち	事業番号・事業名	外部評価委員からの意見		評価に対する町の考え方
R3.10.29	5 起業家人材育成事業	附帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○事業規模が大きいことから、町民に対する事業説明においては多くの理解を得る必要がある。 ○本事業の軌跡・成果をまとめ、広報紙をはじめ様々な手法により町民に報告すべきである。 ▶以上から、予算・方向性は現状維持としつつ、サービスを拡大することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町民の理解を得るため、情報発信を強化していきます。以前より、委託事業者管理のホームページによりローカルベンチャーの紹介を行っていましたが、町が管理するホームページを制作しローカルベンチャーを紹介する他、事業の紹介をしていきます。 ○広報誌では地域おこし協力隊員の紹介を行っていますが、加えて特集記事として事業の紹介をする等広報担当と連携して発信していきます。 ○地域おこし協力隊活動報告会では、さらに多くの町民に参加いただくことを目標とし、また会の中での事業の趣旨説明をさらに強化していきます。 ○事業の成果を示す手法について、より分かりやすい表現を検討します。
		その他意見 (個別意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○起業にあたって必要不可欠な、地域住民の理解を得るための取組を引き続き実施願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上記のように、事業への理解を得るように情報発信を強化していきます。
	6 野生鳥獣対策事業	附帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○エゾシカ被害防止対策事業と一体化する等、事業のスリム化を図ること。 ▶以上から、予算・サービスは現状維持としつつ、類似事業と統合する等の方向性とするのが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在、町、土地改良区、厚真町鳥獣被害対策協議会においてそれぞれが活用できる予算を用いて、互いに協力しながら野生鳥獣対策に臨んでいるところです。事業のスリム化については、現在よりも効果が上がる対応が有るか関係部署と検討していきます。
		その他意見 (個別意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒグマ対策について、ヒグマが人の生活圏に出没することを予防する等、ヒグマの「問題个体化」を未然に防ぐような「予防的観点」も加えた取組についても検討願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「問題个体化」する大きな要因として、ゴミや収穫されなかった農作物を食べ、その味を覚えてしまうことがあげられます。ゴミや収穫されなかった農作物の取り扱いについて町民向けの勉強会等でもより取り上げるなどして「予防的観点」を加えた取り組みになるよう努めます。また、専門家にもどういったことが「予防的観点」を踏まえた対応となるか意見を聞いて対応を検討していくよう努めます。
	7 民間賃貸共同住宅等建設促進事業	附帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○継続して厚真町内の住宅需要を満たしていく必要がある。 ▶以上から、予算・サービス・方向性を現状維持のうえ事業を継続することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○厚真町内の住宅需要を満たす為、当該事業をより活用していただけるよう広報活動の強化に努めます。また、総合計画で掲げる移住・定住促進施策の推進のためには移住者等のニーズを満たした事業展開が求められます。そのため、補助申請を受けた際には、事業計画の審査を徹底し、移住・定住人口の増加、及び快適な住環境の確保に努めます。
		その他意見 (個別意見)	特になし	特になし
	8 広報あつま発行事業	附帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○住民の知りたい情報等のニーズを把握・反映させ、広報内容の充実を図ること。 ▶以上から、予算・方向性は現状維持としつつ、サービスを拡大することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町民の知りたい情報のニーズや広報紙に対する意見をアンケート等により把握し反映できるよう努めます。また、町が取り組む重要施策や新たなプロジェクト等の情報についても積極的に発信し、町民の皆さまにも興味を持っていただき、町民と行政の協働のまちづくりが推進されるよう努めます。
		その他意見 (個別意見)	<ul style="list-style-type: none"> ○広報紙発行事業としては、事業費が大きいという印象があるため、民間事業者への委託等、業務の合理化についても検討願いたい。 ○町の改善提案であるアンケート等は、簡便かつ安価な手法により実施することが望ましい。 ○防災無線の内容について、放送用語に修正したうえで放送することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○業務については、平成27年に編集作業等（レイアウト等）を外注するなど、合理化を図ってまいりましたが、情報の「質」「量」「わかりやすさ」など充実を図りながら、引き続き、コスト削減等、合理化に努めます。 ○広報紙に対するアンケートはコストや時間をかけずに効果的、効率的な手法で行えるよう検討します。 ○防災無線については、住民に対して情報が的確に伝わるよう、簡潔かつ明瞭な表現に努めます。